

(公印省略)

高齢福第2010号
平成26年10月3日

大分県医療ソーシャルワーカー協会長 殿

大分県福祉保健部高齢者福祉課長

多職種連携研修会の開催について (通知)

本県の高齢者福祉行政につきましては、平素から御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本県では、地域包括ケアシステム構築に向けて、個別ケースの検討を多職種協働で行う地域ケア会議の開催等を推進しています。

このたび、多職種連携を一層推進するため、下記のとおり千葉県のおおぞら診療所院長の川越 正平先生をお招きし、研修会を開催しますのでお知らせします。在宅医療の最前線でご活躍される川越先生のお話を聞く大変貴重な機会になりますので、貴会員に周知していただき、積極的な参加をよろしくお願ひします。

参加を希望する場合は、別添1により平成26年10月22日(水)までにFAXで提出をよろしくお願ひします。

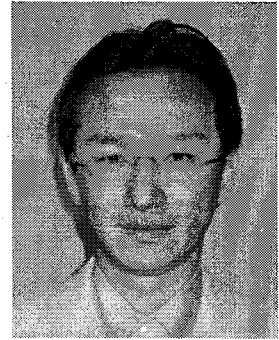
記

- 1 日時 平成26年11月15日(土) 13:15~16:30
- 2 場所 別府国際コンベンションセンター リハーサル室(B2F)
(大分県別府市山の手町12-1 TEL 0977-26-7111)
- 3 対象 医師、歯科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、
(管理)栄養士、MSW、市町村、地域包括支援センター、保健所 等
- 4 内容(予定)
 - (1) 開会
 - (2) 特別講演 13時20分~15時50分(150分)
「在宅医療におけるチームケアの実践と
今後の多職種連携のあり方について~在宅医療の最前線から~」(仮題)
講師:医療法人財団千葉健愛会
おおぞら診療所 院長 川越 正平 氏
 - (3) 質疑応答・意見交換

<担当> 大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 田井
TEL 097-506-2767 (ダイヤル)
FAX 097-506-1738
E-mail tai-yuji@pref.oita.lg.jp

川越 正平

| Kawagoe syouhei | 先生 プロフィール



略歴

- 1991年 東京医科歯科大学医学部卒業
同年虎の門病院内科レジデント（前期2年、後期3年）
- 1996年 虎の門病院血液科医員
- 1999年 医師3名によるグループ診療の形態であおぞら診療所を開設
- 2004年 あおぞら診療所院長
- 2012年 医療法人財団千葉健愛会理事長

役職その他

- 東京医科歯科大学臨床教授
- 東京大学高齢社会総合研究機構客員研究員
- 松戸市医師会理事（在宅ケア・介護保険担当）
- 日本在宅医学会理事（大会運営委員会委員長）
- 日本プライマリ・ケア連合学会代議員
- 日本緩和医療学会代議員
- 全国在宅療養支援診療所連絡会全国世話人
- 日本在宅医療学会評議員

地域包括ケア研究会（2012・2013）委員

- 厚生労働省モデル事業在宅医療連携拠点事業受託機関（平成23・24年度）
- 千葉県在宅医療推進事業受託機関（平成25年度）
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本在宅医学会在宅医療認定専門医
- 日本緩和医療学会暫定指導医
- 第1回杉浦地域医療振興賞受賞（2012年度）
- 日本在宅医学会佐藤智賞受賞（2014年第16回浜松大会）

著書

- 「在宅医療バイブル」（2014、日本医事新報社、編著）
- 「日本緩和医療学会在宅緩和ケアガイドブック」（2010、青海社、分担執筆）
- 「在宅医療テキスト」（2009、勇美記念財団、編集）
- 「日本緩和医療学会在宅緩和ケアのための実践ガイド」（2009、青海社、分担執筆）
- 「日本緩和医療学会在宅緩和ケアのための地域連携ガイド」（2008、青海社、分担執筆）
- 「明日の在宅医療第2巻在宅医療の諸相と方法」（2008、中央法規、分担執筆）
- 「プライマリ・ケア救急」（2007、プリメド社、編著）
- 「在宅医療・介護基本手技マニュアル改訂第2版」（2005、永井書店、分担執筆）
- 「君はどんな医師になりたいのか」（2002、医学書院、共著）
- 「レジデント臨床基本技能イラストレイテッド」（1998、医学書院、編集）
- 「学生のためのプライマリケア病院実習」（1995、医学書院、共著）
- 「初期プライマリケア研修」（1994、医学書院、共著）

別添1

申し込み先

大分県福祉保健部高齢者福祉課 田井 宛 (※切:平成26年10月22日(水))

FAX:097-506-1738

多職種連携研修会参加者名簿(11/15)

番号	所属	職種	氏名	申し込み代表者連絡先 (電話番号)
1				
2				
3				
4				
5				